

勢三郎ト被召我烏帽子子ノ始ナレバ義ノ字ヲサカリニセントテ義盛ト付給ヘリ

〔源平盛衰記 四十〕維盛出家事

與三兵衛申ケルハ、○中略九ト申シ、年君ノ御元服ノ次デニ、忝クモ應テ本ドリヲ取上ダラレ進

ラセテ盛ノ字ヲバ御代ニ附奉レトテ、君ツカセ給ヌ、重○平維盛父ノ字ヲバ松王ニ賜フトテ、重

景トハ付サセ給ケリ、

〔愚管抄 六〕千萬御前、元服せさせて、實朝と云名も京より給りて、建仁三年十二月八日、やがて將軍

宣旨申くだして、○下略

〔吾妻鏡 三十九〕寶治二年五月廿八日己亥、左親衛○北條時賴 妾幕府 男子平産云云、今日被授字寶壽云

云、

〔北條九代記 八〕伊具入道被射殺附諏訪刑部入道斬罪

正嘉元年二月二十六日、相州時賴入道ノ嫡子正壽丸、七歳ニシテ、將軍家○宗尊ノ御所ニオイテ

元服アリ、武藏守長時以下、一門御家人參リツド、親王將軍家、スナハチ宗ノ字ヲ下サレテ、時宗

ト號セラル、

〔太平記 十三〕足利殿東國下向事、附時行滅亡事

諸卿議奏有テ、急足利宰相、高氏卿ヲ討手ニ可被下ニ定リケリ、○中略 忝モ天子ノ御諱ノ字ヲ被下

テ、高氏ト名ノラレケル高ノ字ヲ改メテ、尊ノ字ニゾ被成ケル、

〔太平記 三十三〕新田左兵衛佐義興自害事

奥州ノ國司顯家卿、陸奥國ヨリ鎌倉ヘ責上ル時、義貞ニ志アル武藏上野ノ兵共、此義興ヲ大將ニ

取立テ、三萬餘騎ニテ、奥州ノ國司ニカヲ合セ、鎌倉ヲ責落シテ、吉野ヘ參ジタリシカバ、先帝○後醍醐

叡覽有テ、誠ニ武勇ノ器用タリ、尤義貞ガ家ヲモ可興者也トテ、重名德壽丸ト申シテ、御前ニテ元